

令和元年(ワ)第172号、同2年(ワ)第216号、同3年(ワ)第181号、同5年(ワ)第290号 違法行為差止請求事件

原告 和田廣治ほか

被告 金井豊ほか

証拠説明書(23)

2025年3月10日

富山地方裁判所民事部合議C係 御中

原告ら訴訟代理人弁護士 岩 淵 正 明



以下の証拠表示は、甲号証番号、標目、原本の有無、作成者、作成日、立証趣旨等の順に記載する。

甲号証	標目	原写	作成者	作成日	立証趣旨等
229	新聞記事(朝日新聞)	写	朝日新聞社	2023.8.8	各電力会社における安全対策費の公表状況
230	2024能登半島地震による海岸隆起の調査状況報告書	写	原告和田廣治	2025.1.21	令和6年能登半島地震により能登半島の西海岸が隆起したこと、その隆起の高さ、隆起した海岸までの道路の状況等
231 の1	調査報告書1(能登半島地震による隆起・断層活動)	写	原告ら訴訟代理人弁護士坂本義夫	2025.3.7	令和6年能登半島地震により能登半島の西海岸が隆起したこと、その隆起の高さ、隆起した海岸の状況 同地震により珠洲市若山町に断層崖とみられる大規模な段差が発生したこと、その段差の高さ、段差の状況
231 の2	DVD(調査報告書1に掲載した動画データ)	写	原告ら訴訟代理人弁護士坂本義夫	2025.3.10	同上
232	令和6年能登半島地震に係る志賀地	写	内閣府(原子力防災担	2024.4.12	令和6年能登半島地震により志賀原発から半径30キロメートル圏内の避難路が32箇所

	域における被災状況調査（令和6年4月版）		当)		で通行止めとなったこと、うち5つに迂回路がなかったこと、孤立地区が14箇所発生したこと、放射線防護施設が損壊したこと等
233	調査報告書2（能登半島地震の避難路の状況）	写	原告ら訴訟代理人弁護士坂本義夫	2025.3.7	令和6年能登半島地震により志賀原発から半径30キロメートル圏内の避難路が32箇所通行止めとなったこと、うち5つに迂回路がなかったこと、通行止め道路の迂回路のうち4つが迂回路として機能しなかったこと、旧富来町の住民は避難がほぼ不可能であったと考えられること等